

令和7年度 第75回(春季)通常総会概要

全国公立短期大学協会(会長・柳沢幸治 大月市立短期大学長)は、令和7年5月23日(金)に、TKP 新橋カンファレンスセンター会議室において第75回(春季)通常総会を開催しました。総会には全14大学の学長・事務局長等28名が参加しました。

会議は午前11時に開会し、柳沢会長の挨拶に続いて来賓の文部科学省高等教育局大学振興課課長石橋晶氏から挨拶と「『知の総和答申』を踏まえた新たな評価制度と地域大学振興」について説明がありました。その中では、新たな評価制度のイメージと移行スケジュールや地域の大学の振興についての説明があり、活発な意見交換が行われました。

総会議事では、公短協の(1)令和7年度事業計画、(2)令和7年度予算編成及び会費、(3)次期役員を選出、(4)功労者表彰等について審議・承認されました。

午後からの行政説明では総務省自治財政局財務調査課理事官梅本祐子氏から「地方財政の課題等について」説明があり、昨今の諸物価の高騰に伴う政策等に関連して意見交換が行われました。

「研究協議1」(進行:阿部副会長)では、会員校から提案された、①内部質保証の体制とPDCAサイクル、②学習成果の可視化を含む9課題について協議が行われた。

「研究協議2」の学長の実践事例発表では、①旭川市立大学短期大学部学長三上 隆氏及び②倉敷市立短期大学学長安達励人氏から発表があり、活発な意見交換が行われました。

「研究協議3」では、「この度の中教審答申をどう捉え対処すべきか」について、岩手県立大学宮古・盛岡短期大学部学長鈴木厚人氏がファシリテーターとなって、まず、急速な少子化等に伴う「規模」の適正化によって失われるおそれのある「アクセス」の確保策を講じるとともに、教育の「質」を高めることを軸にして①公立短大ならではの情報源の共有、②独力・独立・独歩の3独に徹すること、③設置団体・財政措置省庁・公立大による大学(3独)強化の取組等について討論が行われました。

17時過ぎに柳沢会長の閉会の挨拶をもって終了しました。

令和7年度 第75回(春季)通常総会 開催要項

1. 開催期日: 令和7年5月23日(金)11:00~17:30
2. 開催方法: 会場出席を原則、Web(Zoom)参加も可とする。
3. 開催会場: TKP新橋カンファレンスセンター 14E (14階)
東京都千代田区内幸町 1-3-1 幸ビルディング
<https://www.kashikaigishitsu.net/special/shimbashi/>
4. 参加者: 学長、学部長、事務局長など 参加者約36人(Zoom参加6人)
5. 日程:
 - 11:00~ 開会(開会案内)
 - 11:10~11:15 会長挨拶 柳沢幸治(大月短期大学学長)
 - 11:15~12:00 **来賓挨拶** 文部科学省高等教育局大学振興課 課長 石橋 晶 氏
行政説明
『『知の総和答申』を踏まえた新たな評価制度と地域大学振興について』
講師:文部科学省高等教育局大学振興課 課長 石橋 晶 氏
(昼休憩 60分)
 - 13:00~13:40 **行政説明**
「地方財政の課題等について」
講師:総務省 自治財政局 財務調査課 理事官 梅本祐子 氏
 - 13:45~14:25 **総会議事**
 - 1) 加盟校の新任学長・副学長・短期大学部長について
 - 2) 役員を選出等について
 - 3) 功労者表彰等について
 - 4) 令和6年度事業報告及び決算報告について
 - 5) 令和7年度事業計画・予算編成方針・予算・会費について
 - 6) 報告事項(各委員報告)
 - 7) 今後の日程(案)について
 - 14:30~15:20 **研究協議(1)**(司会:阿部宏慈)
会員校からの提案課題により実施 (会員校から9課題)
(休憩 10分)
 - 15:30~16:30 **研究協議(2)**(司会:阿部宏慈)
学長の実践事例発表
 - ・ 旭川市立大学短期大学部 学長 三上 隆 氏
 - ・ 倉敷市立短期大学 学長 安達 励人 氏
 - 16:35~17:15 **研究協議(3)**(司会:阿部宏慈)
<討論>「この度の中教審答申をどうとらえ対処すべきか」
ファシリテーター
岩手県立大学宮古・盛岡短期大学部 学長 鈴木 厚人 氏
 - 17:15~ 閉会
 - 17:30~19:30 **意見交換会**(TKP 新橋カンファレンスセンター 14B室)